

広報
261号

東京都製紙原料協同組合

発行所
東京都製紙原料協同組合
台東区台東3-16-1
TEL (3831) 7980~1
発行人 近藤 勝
編集広報委員会



ひまわり畑が広がる遠くには、旭川空港が見える。

城南支部(株) 梶谷商事 梶野 泰一

〈 主 な 内 容 〉

時の視点 創立60周年記念式典に向けて	理事長 近藤 勝	2	組合員の広場		
			趣味について2 (株)九十商店	遠田雅行	12
第22回 古紙関係協議会		3~7	支部スケジュール		12
東京返本加工協同組合 第43期 通常総会		7~9	直納部主催 海外メーカー工場視察研修会		12
60周年記念式典について	事業部長 坂田 智	9~10	お知らせ		13~14
支部便り			「10月会議・歳事予定」「古紙価格」[社名及び住所変更]「計報」		
文京支部 納涼会	支部長 大柴和男	11	会議概要「7月」		14~19
山手支部 研修旅行	支部長 脇 克美	11~12	編集後記	広報副部長 高橋宏明	19
荒川支部 納涼会開催	支部長 久保田貞行	12	広告		20

時の視点

創立60周年記念式典に向けて

理事長 近藤 勝

東京都製紙原料協同組合は昭和22年に設立されてから60年が経過しました。しかし、太平洋戦争で消滅してしまったもののその流れは大正2年に設立された6社協議会から始まり東京製紙原料同業組合、東京製紙原料卸商業組合と我々業界の先人が活躍された100年近い長い歴史を持っております。大正、昭和、平成と常に業界を取り巻く社会の激変を乗り越え、現在では循環型社会に大きく貢献できる立派な業界に育てあげて頂いた諸先輩方に対し心から敬意と感謝の気持ちを表したいと思えます。周年行事とはある時点で過去を振り返り、多くの功労者の実績に感謝すると同時に未来を見つめ「夢と希望」そして「決意を新たにする」節目の機会であると言われていきます。この50周年から60周年に至るまでの10年間は正に世界中が激変し、古紙業界も中

国という隣国の急成長に支えられ大きく変化して参りました。雑誌が逆有償回収となり産業古紙も発生先から処理料を頂かねば業が成り立たない苦しい時代がつい2、3年前まで続いておりました。

今、地球環境問題から資源循環型社会が構築され我々業界は確実に社会的地位を上げておりますが、今後の問題も決して少なくありません。消費構造の変化、印刷機械の進歩などにより古紙回収量の減少が進行しており、いつまで経っても過当競争が収束しません。業界の安定は正に組合活動に委ねられており、この10年間で70社も減少し230社となった組合員数を今後増加に転じて行かなければなりません。減少の原因を後継者問題や廃業のみに言及することなく組合自身の活力に更に磨きをかけ、将来のあるべき姿を研究し、今後も魅力ある組織作りに取り組んでいきたいと思えます。相撲界に大麻問題という激震が走りました。横綱をはじめ強ければ何をやってもよいというような風潮があるのではないのでしょうか。我々業界も利益の為なら何をやってもというような考えはないと思えますが、より多くのアウトサイダーの組合加入を促進し情報交換の場をより多く作って行き

たいと考えております。

冒頭、周年行事とは何かを書きましたが、更に申し上げれば竹の節であるともいわれています。竹は真つ直ぐに伸びていますが強風が来ても倒れません。それは節があるからです。10月24日の60周年記念式典には大勢の組合員の皆さんと製紙メーカーを始め大勢の関連団体・関連企業の方々に節となつて頂き、更に70年、80年と伸ばして行くことができればこの上ない喜びであります。皆様方のご出席を心からお待ちしております。



第22回 古紙関係協議会

平成20年7月28日(水) p m 3:00
製本工組会議室にて開催

出席者 東京協組 11名

製本工組 16名

星野理事長(東京工組)

本日結集なされた東京都製紙原料協同組合の皆様、そして当組合三役、支部長、部会長の皆様には、お互いに忌憚のない意見を述べていただき、両業界がよりよい関係を築き上げていくようにしたいと思います。

近藤理事長(東京協組)

日頃から製本工組の皆様方には、大変お世話になりありがとうございます。第22回目の会合という大変長いお付き合いの中で、お互いの信頼感が確立されていることに感謝申し上げます。

本年10月には、当組合の創立60周年記念式典を行う予定であり、これを機にさらにコンプライアンスの徹底やサービスの向上に努めて参りたい。



古紙業界の動向

① 中国事情と国内の現況

赤染直納部長(東京協組)

すそ物三品(ダンボール、新聞、雑誌)の状況について説明する。日本の年間古紙の20%近くが輸出されている。国内メーカーが使用した後の余剰古紙が、昨年は38万トン(17%)の数量で、その内の80%が中国向けに供給されている。

中国の動向が国内製紙メーカーや古紙状況を非常に左右する。それでは中国は今どうなっているのか。年が明けて1~5月までは全般的に順調な市況で推移してきた。北京オリンピックを控えて、中国需要が旺盛であった。特にダンボール原紙の生産メーカーは新工場を立ち上げる計画が目白押しで、トップメーカーでは、年間650万トンを生産していたが、これを1年間で1050万トンまで伸ばす計画。次位のメーカーも同様の計画であり、1、2位の2社だけでも、年間でかなりの数量を増産する予定である。メーカーの買い付け担当によると、「日本の古紙を全て買っても生産が間に合わない」という事であるが、その言葉を鵜呑みにはできない。

中国では今後、生産計画は伸びるが、現実はどうかという点、3、4、5月は相場の上がったが、6、7月は横ばい、8月はダンボール、雑誌が若干下がっている。オリンピック直前になり、公害問題その他から、操業休止や生産調整から生産が鈍っており、市況が落ちている。長期的に見ると、再来年の上海万博を控えて、また動き出すというのが一般的な見方である。

上海万博を終えてからはどうなるのか。中

国の経済成長率が今のところ2桁で推移しているが、これが1桁に鈍化するけれども成長することには変わりがない。今後の中国市況によつて、日本国内の古紙市況が左右される状況は相変わらずだ。

日本国内の洋紙メーカー、板紙メーカー共に、国内古紙の購入価格（レギュラー価格）は据え置いたままに推移している。足りない時はスポットで対応するという事である。

中国市況が下がれば、即国内の相場も下がるので、ここにきて熱が冷まされている。問屋としては、過熱していた仕入相場を下げなくては、逆ザヤに陥ってしまうという危険な状況。

国内のダンボール原紙を作っているメーカーでは、9月から値上げを打ち出している。ただし、在庫が適正在庫を上回っているので、これから生産調整をやるという事で、無理してダンボール古紙を買わない状況。

洋紙メーカーでは、印刷情報用紙の値上げを打ち出しているが、各メーカーではDIP設備が本格稼動を始めるので、新聞、雑誌、家庭紙原料、産業古紙に至るまで、需要が旺盛になってくる。すそ物三品の中でも、ダンボールとその他の古紙では、違う動きをする

かなと感じている。

北京オリンピックが終わるまでは、落ち着いた市況が続くという見方が一般的である。その後、来年になると、上海万博の準備が始まる。先々は誰も分からないというのが本当のところであろう。

② 産業古紙の現況

上田直納部副部長（東京協組）

産業古紙に関して上質系の古紙と更系の古紙の2つに分けて説明する。

家庭紙原料は4、5年前まではトイレットペーパーを作っているメーカーがほとんど全量使っていたが、品質が良いので、洋紙メーカーも使うようになった。需要と需要先が増えたので、以前の低迷期を抜け出して、価格がある程度上がってきた。この4、5年間右肩上がりになってきているが、トイレットペーパーの値段は思ったほど上がっていない。一番安い時に12ロール180円前後であったが、今はやっと250円程度。1ロールに占める古紙の価格は25%、つまり1ロール1円値が上がれば、他の資材の値上がりが無いと仮定すると、古紙は5円上げられる計算になる。12ロールで50〜80円上がったと仮定す

ると、1ロールあたり4円くらい上がっている。

しかし、ほとんどの値上げ幅は、燃料や資材等に取られてしまつて、古紙の方になかなか回ってこない。非常に難しい舵取りをしている状況である。

一方、特更メーカーも、マンガが売れず、発行部数が激減しているので、非常に苦戦している。本来だと価格が落ちるのだが、品質が均一なので、価格も高いとは言えないが安定している。今後も極端に価格が下がるといふ事は考えにくい。

古紙は安定的な価格になってきたが、不採算からようやく採算ラインに乗ってきたという状況である。

③ 回収にかかわる現況

宮崎集荷部部長（東京協組）

集荷にしてみれば、玉が無いという事が今一番辛い。要するに製本の発行部数が減ってくるし、単価競争が出ているという事も聞いている。ここにきてようやく採算ベースに乗ってきた状況なので、製本業界からたくさん産業古紙が出てくれれば、私たちもようやく息がつけるといふつもりだったが、製本

業界が大分落ち込んでいると感じるので、私たちの店でも2割5分から3割減っている。こんな状況なので、いくら値が動いたから、そろそろ引き取り値を上げないと他所にお客を取られると言われ、お得意様は大切なので少し色をつけて動かすと利益率が落ちてくるので、今が一番厳しい状況である。

こういう状態を脱却するには、集荷としては今の価格を崩さないでいつまでも維持して欲しいと家庭紙メーカーに訴えたところ、メーカーも値を崩さないよう頑張るので、たくさん集めてくれと言われた。しかし集める品物がない状態。

ここへきて品物が無いので、特別に値段を付けて割り込んでくる業者も出てきたが、既存の出入りの業者をかわいがっていたたく事を宜しく願います。

石橋集荷副部長（東京協組）

5月の終わりくらいから、製本会社から出てくるものだけでなく、古紙の発生が落ち込んできた。例年に比べ3割減程度に陥っている。仲間同士で話をする、自分の所だけでなく、全体の流れのようだ。果たしてそれでどこに古紙が集まっているのか。大手に片



寄って行って、我々の手の届かない所で流通が行われているのではと邪推してしまう。

価格がいい形に修正されてきたが、燃料の高騰等で固定経費がかかる。量が集まれば、今まで体力を費やしてきた分を回復できると期待していたが、現状は今言った通りである。

赤染直納部長（東京協組）

関東の古紙問屋の総会で、古紙の発生総量が発表された。今年は対前年比で減少の見通しである。

景気の停滞、産業古紙の減少とともに、スーパー、百貨店等のダンボール発生の低下、新聞の発行部数の減少などがその原因として挙げられる。

製本業界の動向

常川副理事長（東京工組）

市況が大分変化して、実際問題として需要と供給のバランスで、古紙の値段が下がっている。それからリサイクルに関して関心が高まっている。

石油の値上がり、製品のほとんどが値上がりしているが、上がらないのは我々の給料だけである。今までのインフレは物が上がれば給料が上がったが、現在は物が上がっても給料は上がらない。ものすごい不況である。製本業界のお客様である印刷業界、出版業界も不況であり、出版の数量が減っている。古紙が出ないという事になる。

全体として、業界は不景気であり、一つの例で言えば、電子図書の普及等で、紙媒体は

減少の傾向にある。

林書籍部会長（東京工組）

皆さんとは運命共同体であると考えている。これからはリサイクルに適した環境対応をしていかねばならない時代になっていく。色々として行錯誤はあると思うが、今の数字の面とかは、市況にのっとって、値段が上がった時には素早く、我々にも還元していただきたいとお願ひしたい。

書籍は上製本の表紙にPP貼りがしてあり、逆有償の対象になっているが、こういうものをなるべく0円になるように考えていただきたい。PP貼り等を1カ所に集めれば何とかなるというような提案をいただければ助かるので、その点をお願ひしたい。

丸山雑誌部会長（東京工組）

製本業界は古紙プレスをやっている企業が2割くらいだと思う。残りの企業は、壺上げしたり、袋に入れたりという形である。

私のところでは、古紙の値が上がっても全然転嫁されていない。月に3〜10トン位古紙を出しているところでは、こちらから言っただけで、何ヶ月かすると上げてくれるというような状

態である。

そういうことではなく、製本業は今非常に苦しく、古紙による収入は非常にありがたいので、組合でそういった動向を素早く伝えて欲しい。

これからはドライに、言いたい事を言いたい。組合は情報の発信地であるので、必要な時には、相場的にどの位かを教えて欲しい。

大熊商印部会長（東京工組）

特にカタログ、パンフレット、伝票をやっている、少人数の企業が大多数である。一番問題になるのは、伝票のノーカーボンと地券紙。これは古紙100%なのに、リサイクルに出すと逆有償になる。リサイクル品を使っているのに、どうして逆有償になるのか、常々疑問に思っている、地券紙を使わない方がいいのではという話も出ている。

規模が小さいので分別が出来ない。希望としたり、袋を小さくしたり、どうやって分けたいのかを古紙業者から提案が欲しい。又、ラップやPPバンドをついでに集荷していただけないだろうか。

「質疑応答」

東京工組：DIP設備とはどんなものかを説明して欲しい。

東京協組：製紙工場の設備の一つで、脱墨設備のことである。これを使い、今まで使われなかった古紙も用紙に使われるようになった。

東京工組：ICタグについて、マンガ本の表紙の裏にICタグを取り付けるという話です。すすんでいるが、そうなった場合、どうやって仕分ければよいのだろうか。

東京協組：ICタグはパルパーではがれて網目の所にひっかかるようになっていて、アルミ箔の所が若干網目を通ってしまい、用紙メーカーでの使用は難しいが、板紙メーカーでは大丈夫という状況だと思う。今年秋に小学館がコミックスにICタグを装着する予定であるが、リサイクルに関して、個人的には大丈夫ではないかと思う。

東京協組：難細裂化ホットメルトの中にICタグが入っていて、タグ自体が細くならない方式で、ポロツと取れるようになっている。

東京工組：商印の仕事をしているが、禁忌品の混入も多い。PP貼りは現在、無料で引き取ってもらっている状況だが、最近ではユポの混入も多く、引き取りの際に1kg当たり30円支払っている。製本会社に刷本が入る際、印刷会社で処理できないユポのヤレまで運ばれてくる。ユポの原料は二酸化炭素発生に関係なく、大手製紙会社では買い取ってくれるという話である。熱源として利用しているようなので、そのあたりの詳しい情報があれば聞きたい。

東京協組：木くずや石油製品や紙など、熱量が一定になるように、一定の配分で混合し、少し熱を加えて、RPFという固形燃料を作っている。RPFにしないと熱量が足らず、釜を傷める。重油が高いのでRPFに移行している現状。我々がその原料となるものをRPF屋に持ち込むと、1kg30円くらい要求される。

東京工組：PPバンドは以前から、チップ状にすると、有償で引き取ってくれる業者がいる。

東京工組：PPバンドは、金具を切って、プレス機で圧縮し、1kg15円で持ち込んでい

る。昔はその処理に年間250万円支払っていたが、今はお金を貰っている。プレス機を買えば、工場内も綺麗になる。リサイクルできず、残っているのはバンドの金具だけ。

東京工組：先日、プラスチックパレットの話があり、PPバンドはその材料として、有償でも欲しいという話があった。

東京協組：製本業界ではPPバンドとストリップフィルムの発生が多い。プレス機にかけるのがベターだが、現況は混載でも大丈夫なようだ。

約2時間にわたる協議を終了し、同開場にて、食事を摂りながらのフリートークキングと続き、午後6時散会した。

東京返本加工協同組合

第43期 通常総会開催

工藤 裕樹 新理事長体制スタート

去る、2008年8月21日(水) 東京ドームホテル 5階 『初音』の間において、東京返本加工協同組合 第43回(平成19年度)通常総会が、開催されました。

ご来賓として、出版共同流通株式会社 専務取締役 高田 誠様、東京都製紙原料協同組合 理事長 近藤 勝様、税理士法人 西川会計 西川 豪康様にご来臨賜り、稲生専務理事の司会のもと、深山理事・開会の挨拶にて、総会がスタートしました。



議案審議に先立って、藤井理事長より、以下の要旨の挨拶がありました。「第43期は、一致団結した組合員の努力と、取次・流通販売各社様のご協力により、好決算にて、期末を迎えることが出来ました。」

続いて、司会者より、組合員総数19名中、本人出席・委任出席合計で19名であり、総会が適法である旨の報告に続き、会場の承認をもって、山中副理事長が、議長として選出され、議案の審議に入りました。

今総会の議案は、第1号～第10号議案まで提案されており、事業報告・決算報告・剰余金処分案等、各担当理事より上程され、各議案とも全会一致で、原案通り承認可決されました。

事業報告では、売上部門の合計が、1,143百万円（前年比128%）と、10億円を突破することができた旨報告され、古紙価格の安定化維持と、共同販売の貢献が顕著なものであったこと、1月に実施したベラー2号機の入替による、修繕費の低減（前年比77%）と、一般管理費の抑制（前年比97%）等が、好決算に寄与したことが、報告されました。

また、役員任期満了に伴い、第8号議案「理

事及び監事改選」を行い、選考委員3名の推選により、理事7名監事2名が、満場一致の承認をもって、選出されました。（別表参照）議事終了後、直ちに開催された、第1回理事会において、新理事長として 工藤 裕樹（株）工藤商店）、副理事長に 齋藤 米藏（株）齋藤商店）、専務理事に 稲生 正俊（員外）が選出され、円滑な組合運営推進のために、委員等の委嘱がされました。

若返した新役員を代表して、工藤新理事長より、就任のお礼と、藤井前理事長の功労をたたえ、更に取次・流通各社様に、今後より一層の貢献を期する旨の言葉が述べられました。



その後、今期で理事を退任される、瀧本前理事の閉会の挨拶をもって、総会は無事終了となり、ご来賓を代表して、出版共同流通株式会社 高田専務様より、祝意と、新理事長への期待、前理事長への労い、日本出版販売株式会社様の返品古紙化施策強化のご報告、また、新体制の東京返本加工協同組合に対する、更なる期待と、一層の協力を得たいとのご挨拶を賜りました。

総会に引き続き開催された懇親会には、日本出版販売株式会社 専務取締役 兼 出版共同流通株式会社 代表取締役社長 高見吉弘様、東京都製紙原料協同組合 理事長 近藤 勝様 をはじめ、取次・流通販売会社や、協力会社より、多数のご来賓にご出席賜り、事務局 深澤部長の司会進行により、和気藹々とした雰囲気となりました。

ご来賓として、高見社長様と、近藤理事長様よりご挨拶を賜り、出版共同流通株式会社 羽山取締役の、乾杯のご発声により開会し、恒例の初参加・ゲスト諸氏の、自己紹介をかねたカラオケ披露の後、高見社長からのリクエストにより、工藤新理事長も一曲披露、と相成りました。

立食形式の会場には、親睦、情報交換等々

幾つもの輪ができ、貴重な時間となり、上田理事の中締め挨拶をもって、終宴となりました。

お忙しいなか、総会ならびに懇親会にご出席を賜りました皆様、誠にありがとうございます。皆様のご協力に感謝申し上げます。

東京返本加工協同組合 事務局記

東京返本加工協同組合・改選役員

8月21日(水)・第43回通常総会にて承認(理事)

理事長 工藤 裕樹

(株)工藤商店 代表取締役社長

副理事長 斉藤 米蔵

(株)斎藤商店 代表取締役社長

専務理事 稲生 正俊

員外

理事 山中 明德

(有)山中商店 代表取締役社長

理事 上田 雄健

三弘紙業(株) 代表取締役会長

理事 藤川 達郎

(株)藤川紙業 代表取締役社長

理事 渡邊 繁光

東日紙商(株) 専務取締役

(監事)

監事 脇 克美

(株)脇商店 代表取締役社長

監事 富沢 進一

(株)富澤 代表取締役専務

〈理事長委嘱〉

相談役 藤井 康夫

(株)藤井 代表取締役社長

顧問 瀧本 義継

(株)富澤 代表取締役社長

理事長直轄 渉外本部長(役員待遇)

深山 重喜

(株)藤川紙業 専務取締役

事務局 総括部長(役員待遇)

深澤 進

員外

販売委員 鈴木 斗史雄

三弘紙業(株) 常務取締役

販売委員 島田 秀彦

(株)工藤商店 取締役販売部長

販売委員補佐 三枝 裕昭

(株)藤川紙業 販売副部長

60周年記念式典について

事業部長 坂田 智

日頃組合員の皆様には組合運営に大変御協力頂き誠にありがとうございます。

さてこの度10月24日に上野の精養軒において組合60周年事業を行なう事になりました。この事業においては事業部長と各支部長が執行部となり、実行委員会を立ち上げました。まず7月2日に記念誌に載せる記念テーマ

「激動の過去10年を振り返って」とうたつて座談会を、組合に長きに亘り貢献された方々にお集まり頂き記憶をたどつて思いを語り合ってもらいました。記念誌を楽しみにお待ち下さい。

7月14日に実行委員会が開催され、今回の60周年を40周年50周年と同じ精養軒において行うことになりました。その際、来賓の控室までの誘導等が話し合われました。

7月24日正副会執行部の打合せ、10月24日

迄のタイムスケジュール、そして各項目の締切チェックの確認等、余裕を持って進めていこうと改めて話し合われました。招待状文案作成、予算等、8月初め招待状印刷完成、来賓、招待者のリストアップ。特に重要な来賓には、事前に連絡をして、招待状を理事長が持参する。

8月5日招待状の作成（招待文、返信ハガキの作成、印刷）特定招待状の発送および持参
8月6日記念誌の祝辞原稿の依頼発送。組合員は支部単位で動員をお願いする。看板の作成、マイクの数、位置、イス机の数などを高山総務部長中心に検討をする。全10支部の支部旗を当日、式典会場に用意をするなど細かい事がたくさんあり、改めて大きな式典を行なう事の大変さを感じました。

8月18日記念誌に載せる各支部の原稿の締切
8月22日来賓招待状発送 アトラクションは松井副理事長ご紹介のフラメンコに決定。フラメンコの舞台にするコンパネの用意等を話し合いました。

記念誌は紙業タイムス社に依頼し、いろいろな面で意見を出し合いながら進めてきました。式典の来賓出席者の決定（関連業界、代議士、役所、製紙業界等）そして歴代の各支部長のOBの方にも招待状を発送致しました。

8月27日の担当者会議では、最終的なツメを細部にわたって議論しました。

そして9月3日には実行委員会を行なう予定です。その後確実に実行できるまで何回か会議を持ちたいと思います。今回の記念事業の為に10回以上は実行委員会又は担当者による会議を行なったのではないのでしょうか。これからも無事に10月24日を終わることができるよう、心に緊張感を持って頑張っていきたいと思っています。当組合がいろいろな方に認知され、リサイクルの重要性を社会にアピールし組合員の信用向上に向けさらに努力していきたいと思えます。これからも組合員皆様の御理解、御協力をよろしくお願い申し上げます。

東京都製紙原料組合

創立60周年記念行事

平成20年10月24日（金曜日）

開催場所 上野 精養軒

東京都台東区上野公園4番58号
電話（03）3821-2181

受付開始

午後3時30分～

60周年記念式典

午後4時00分～ 3階「桐の間」

記念祝賀会

午後6時00分～ 3階「さくらの間」

支部便り

文京支部 納涼会

支部長 大柴 和男



8月8日(金) 文京支部納涼会を小石川の岡笠荘にて開催いたしました。 司会を皆川様にお願ひし、支部長挨拶、山田副支部長の乾杯のご発声にて宴会へ。今回は、樫原様、清水様、皆川様、大柴の四夫婦で参加。志田様と吉田様は親子で、(株)パルコムから張様、大同生命保険(株)より服部課長様、斉藤様、小川様、支部員で22名の参加でした。今回は納涼会として初めてビンゴゲームを楽しみました。一等に山田副支部長、二等三等が、会計係の梨本様が当たりました。副理事長の清水様が中締めを行い、大福をおみやげに帰路に着きました。幹事、皆川商店様、(株)ヨシカワ様、吉田商店様、ありがとうございました。

山手支部 研修旅行

山手支部長 脇 克美

去る9月6、7日の週末を利用して我々山手支部は湯河原温泉『石亭』へ研修旅行に行つてまいりました。当日は昼過ぎに東京駅に総勢10名が集合しいよいよ研修会のはじまりです。とはいえ、温泉場への出発ですので発車



と同時にまずビールで乾杯!カキピーをつまみに一応最近の商況などを互いに話していきやがて湯河原に到着。宿に直行し、まずは温泉に浸かり、この夏の疲れとアカを落とし、年末までを乗り切る英気を養い、静かに宴会のはじまりを待ちました。夕刻6時に宴会開始。乾杯の音頭をとった私の挨拶の後のことはとても広報では書くことは出来ません。

翌日は昼近くにチェックアウトをし、真鶴に立ち寄ることにしました。観光船に乗って、海からの景色を楽しみ、すこし足をのぼして昼飯には超豪華な舟盛料理に舌鼓を打ち、東京に帰ってまいりました。只の酒呑みの会に思われるかもしれませんが、定例の支部会とも異なり、所謂裸のつきあいをして、1泊でもすると普段とはまた異なる人間性も見え、支部員同士の繋がりも深まってゆく気がします。しかし、この日、人間性を曝け出していたのは、私ひとりだったかも知れません。

荒川支部 納涼会開催

支部長 久保田 貞行

荒川支部では平成20年8月23日(土)午後7時より「浅草ROXまつり湯」において、納涼会を開催致しました。

当日の参加者は32名(子供含む)、個室を貸切り、皆さん温泉に入った後、食事、カラオケと楽しみ、宴は約2時間続き、和気あいな内、流れ解散となりました。

組合員の広場

趣味について 2

(株)九十商店 遠田雅行

前号でラフティングという遊びについて書かせて頂きましたが、今回は「キャニオニング」について伝えます。「ラフティング」はゴムボートを使って川を下る遊びですがキャニオニングは自分の身体のみで川を下り、滝に飛び込んだりするものが「キャニオニング」です。装備はヘルメットにウエットスーツ。ライフジャケットは変わらないのですが、面白いのは、その店独自の呼び方かもしれませんが「パンパース」というお尻を保護する物を装着します。そしてまず、スタートポイントまで登り道を歩きスタートします。ウエットスーツを着たまま歩くのでかなり暑いので、川に入るとたまらなく気持ちがいいものです。

最初はさほどスリルはなく、大きな石の上を滑り降りたり、小さな滝の裏側を水をかぶりながら歩いたりしているのですが、だんだん「本当に平気なの？」という風にもスリルが

増してきます。そしてその川は大きな滝つぼに向かいます。ここが一番のクライマックスで、約20mぐらい落差があるでしょうか、半分くらいロープにつかまりながら滝をつたい下りガイドの「アプルーチ」という掛け声で一気に滑り落ちます。

これだけでもかなりスリルがありますが、次は、その滝つぼを泳いで、岸から崖を登り、小さな鉄橋を歩くと、滝つぼの端から端までロープが張っている所につきます。そして、ベルトのカラナビにロープをからめ宙吊りになった所でガイドがロープを動かし、滝つぼの中央まで移動します。そこから自分でロープをほどこいて10m以上あると思われる距離を落下します。滞空時間も感じるし、何しろ、ライフジャケットを着ているのに水面まで3〜4秒ほどかかる様な気がします。日常では絶対に無い感覚なので、本当に夢中になります。しかし、残念な事に今年の夏の水の事故が多発した時に、このキャニオニングで亡くなった方がニュースで伝えられました。店側もそういつた事に敏感で、年々安全な方向へという様になってるのが現状です。一歩間違えると命に関わる事なのでやはり、ルールやマナーは守らないといけないと感じています。

支部スケジュール

千代田支部	支部会	9月8日(月)	
	支部会	10月6日(月)	
中央支部	支部会	9月12日(金)	
	支部会	10月14日(火)	予定
文京支部	支部会	9月8日(月)	池袋 清龍門
	支部会	10月8日(水)	大塚 寿し常
	支部会	11月10日(月)	池袋 清龍門
	忘年会	12月8日(月)	場所未定
台東支部	支部会	9月	日にち未定
	支部会・忘年会	11月	予定
荒川支部	支部会	10月	なし
	役員会	11月	
	忘年会・歳末夜警	12月	
足立支部	支部会	10月	なし
山手支部	支部会	10月18日(土)	鮎やなぎ
	支部会	11月18日(土)	鮎やなぎ
	忘年会	12月13日(土)	鮎やなぎ

城南支部

支部会 9月26日(金)
支部会 10月なし

江墨支部

支部会 9月25日(木)
支部会 10月20日(月)

城北支部

支部会 9月12日(金)
支部会 10月10日(金)

※直納部主催

海外メーカー工場視察研修会

訪問先：中国(北京・大連)

北京郊外の製紙メーカー「古紙ヤード

期間：平成20年11月21日(金)～24日(月)

宿泊：北京(ザ・リージェント北京)

大連(ホテル日航)

両方とも 5星ホテル

直納部主催ですが、組合員どなたでも参加できます。奮ってご参加ください。
締切日(案内書参照)迄に事務局宛にお申し込みください。

お知らせ

10月会議予定

- 10月2日(木) 東京都印刷工業組合表敬訪問 (p m 1 : 15 ~ 1 : 45)
- 日本印刷会館常任理事会 (p m 2 : 30 ~)
- 理事会 (p m 4 : 00 ~)
- 組合会議室
- 10月9日(木) 清風会ゴルフコンペ「ザ・ゴルフクラブ竜ヶ崎」茨城県竜ヶ崎 a m 7 : 45スタート
- 集直正副委員長会議 (p m 4 : 00) 組合会議室
- 10月14日(火) 直納部委員会 (p m 4 : 00) 組合会議室
- 10月22日(水) 直納部委員会 (p m 4 : 00) 組合会議室
- 10月23日(木) 古紙センター業務委員会 (p m 1 : 30 ~)
- 全原連役員会 (p m 2 : 30) 古紙センター会議室
- 10月24日(金) 創立60周年記念行事記念式典 (p m 4 : 00 ~) 記念祝賀会 (p m 6 : 00) 上野・精養軒
- 10月29日(水) 静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会

事前会議 (p m 3 : 15)
 本会議 (p m 4 : 00)
 懇親会 (p m 5 : 30)
 ホテルグランド富士

〔古紙価格〕

〔東資協の古紙4品の標準売値〕

平成20年8月8日現在

*新聞 13~16円(上昇)

*雑誌 10~12円(下値上昇)

段ボール 12~13円(横這い)

色上(並) 10~12円(下値上昇)

〔古紙品質調査事業〕

平成20年7月~9月価格

〔新聞 古紙〕 19,000円/トン

〔段ボール古紙〕 18,000円/トン

〔社名及び住所変更〕

足立支部：長村紙業(代表者 長村久道)

平成20年8月1日より新会社名

株式会社 長村紙興(代表取締役 長村久道)

新住所 〒120-0024

足立区千住関谷町8-7-801

電話 03-3882-9355

FAX 03-3870-1814

計 報

〔文京支部〕(株) 梨本(代表者 梨本 恵子様)のご主人 梨本 秀雄様(享年71)が平成20年7月3日にご逝去されました。

〔城南支部〕(株) 中田(代表者 中田 敏夫様)のご尊父 中田 信夫様(享年89)が平成20年7月22日にご逝去されました。

会議概要 (7月)

7月度定例理事会 (平成20年7月3日(木))

出席理事27名(於) 上野・東天紅 p m 4 : 00

近藤理事長挨拶

7月には入り原油価格高騰が止まらず、様々な物価が上昇しており大手企業の業績が悪化している。そんな社会情勢の中で古紙の発生も低迷したまま続いていくのではないかと思われますが、これからもコンプライアンスに徹して業界に取り組んでいきたいと思えます。

先月は、静岡県紙業協会家庭紙部会との懇談会が開催され貴重な情報交換をする事ができ

ました。又、しばらく中断していました特更メーカーとの特更部会も復活する事になりました。今月も60周年記念実行委員会、共販輸出協議会、製本工組との古紙関係協議会をひかえていて、忙しい月となりますがひとつ宜しくお願い致します。

〔各部報告〕

〔総務部〕

会館1階 サンプルント(株)平成20年6月19日貸借更新 賃借料、現状料金で更新をした。

〔直納部〕

先月に静岡県紙業協会家庭紙部会との三団体懇談会が開催された。会議の中でメーカーが原料について心配をしている。秋からの家庭紙原料はどうなるのか。古紙の発生が落ちてくる事を話した。製品価格の修正について確認をした。

共販輸出の6月の入札価格は上昇しており、7月より現在の4社から三ツ矢産商(株)が加わることになりました。

市況全般としては、全般的に在庫はランニングストック程度である。メーカーは製品の価

格修正があるため、製品在庫を豊富に持つており生産調整をしている。新聞古紙は新聞用紙メーカーが潤沢に原料を持つており、ひところのような高値のスポット価格が消え落ち着いた状態である。しかし、相変わらず過当競争が続いている。

〔品種別市況報告〕

〔家庭紙〕 家庭紙の発生は前年に対し減少している。家庭紙メーカーへいく数量に歯止めがきかない状況である。

〔段ボール〕 7月～8月は価格修正の関係で操短を強化し、減産を1割程度するのではないか。輸出については、原紙在庫が増えている、オリンピックの関係で操短で低調になるようである。又、日本の地方港から船が手配できず輸出が思うようにできない。7月～8月は輸出低調になるのではないかと思われる。

〔新聞、雑誌〕 相変わらず堅調。秋に向け新聞を中心に高まっていくのではないかと。

〔上台紙〕 特に変化なし。発生が悪く全体的に発生が減っている。

〔オフィス古紙〕 発生は落ちている。9月以降の決算期に発生してくる事を期待している。機密がどれくらい回収できるか。

〔返本雑誌〕 毎月、前年対比で落ちてきてお

り減少傾向である。7月に出版用紙が値上がりとなり大変厳しい状況となっている。価格面は変更なし。

〔切付〕 発生は悪い止めたメーカーの影響で稼動の方は比較的順調である。供給能力は比較的堅調である。

〔集荷部〕

発生が毎月落ちて推移している。製本関係の発生が少なく小規模の所が廃業している。産業古紙が少なくなってきた。

過当競争を自粛するようにしてほしい。7月28日の製本工組との古紙関係協議会にむけて集荷部会を7月23日に開く予定である。

〔広報部〕

① 広報誌7月号の作成準備をすすめている。業務部長の挨拶、各支部の総会等を記載する予定である。発送は7月下旬の予定である。

② 60周年記念行事にむけて記念誌の準備をすすめている。昨日は記念誌に掲載する記念座談会を組合功労者を迎えて行った。記念誌で実際に作成するのは過去10年間の記念誌となる。各支部の10年間の歴史となる資料を期限までに提出してほしい。

③ ホームページに関しては、紙業タイムス社にお願しいし更新作業を進めている。

〔事業部〕

60周年記念行事の準備をすすめている。今年度も引き続き労働時間等設定改善推進助成金制度を実施していく。

〔青年部〕

7月10日に有志によるゴルフコンペを開催する予定である。

〔近代化推進事業委員会〕

需給委員会：10月半ば頃、英国視察を予定している。

経営革新委員会：7月より第2回エコアクション21の説明会を実施予定である。

7月16日の会議で古紙リサイクルアドバイザーの手順書の作成と講習会の方針を決める予定。

古紙センター

〔関東地区委員会〕平成20年7月22日(火)

p m 3:30 (於) 古紙センター会議室

〔需要動向〕 08/7月 単位トン、

() は対前年同月比、在庫の () は在庫率

〔関東商組32社実績〕

〔新聞〕

仕入	88、817 (86.9%)
出荷	88、127 (97.6%)

〔雑誌〕

在庫 8、656 (9.8%)

仕入 61、778 (102.2%)

出荷 61、865 (101.6%)

在庫 6、619 (10.7%)

〔段ボール〕

仕入 138、215 (96.6%)

出荷 139、008 (99.8%)

在庫 11、301 (8.1%)

〔関東・静岡実績〕

〔新聞〕

入荷 247、582 (94.5%)

消費 262、422 (102.7%)

在庫 190、431 (72.6%)

〔雑誌〕

入荷 121、499 (103.0%)

消費 131、236 (103.7%)

在庫 57、953 (44.2%)

〔段ボール〕

入荷 284、574 (94.6%)

消費 311、954 (98.9%)

在庫 135、308 (43.4%)

〔業者側コメント〕

〔新聞・雑誌〕 新聞の発生状況は良くない。

6月に家庭に入った量はチラシが前年と比べ85%、新聞とチラシで89%と落ちている。雑誌は、6月、7月と発生は良くない。トレンドに変化はない。

〔段ボール〕 段ボールは、景気低迷の影響を受けているようである。中元時期で古紙の発生が良くなるはずだが7月に入っても低調である。段古紙は、景気が悪くても右から左へ流れている。中国も同じような状況である。操短した割にはメーカーの在庫がたまらない状況。

〔メーカー側コメント〕

新聞の入荷は前月と比較して良くない。在庫も若干、減った。1月～6月は消費が伸びている。これから回収に伸びがない限り在庫がもたない。

段ボールは5月～6月は非常に悪いペースである。原因は梅雨、物価の上昇等だが7月に入り暑くなり、ひどい状態が若干、良くなってきた。段ボール古紙の入荷は6月は前年と前月比でマイナス。各社、減産、生産調整がありほぼ計画どおりである。7月は6月とあまり変わらない状況が続いている。発注がマインナス傾向である。

古紙センター

〔業務委員会〕〔平成20年7月23日(水) p m 1:30〕 於 古紙センター会議室

- [1] 運用準備基金運用規定の制定と書面による臨時理事会の実施について
 - [2] グリーンマーク表示実施要項の制定について
 - [3] センターの古紙主要銘柄表の一部変更について
 - [4] 点字印刷物の種類とその古紙排出時の注意について
 - [5] 紙リサイクル団体表彰交付(東京都製紙原料協同組合)について
 - [6] 集団回収実施団体への感謝状交付(北海道地区委員会・近畿地区委員会推選)
 - [7] 平成20年度国庫補助対象事業の実施予定について
 - [8] 古紙回収推進事業の各地区実行計画の提出について
 - [9] センターオリジナルキャラクターの選考について
 - [10] 古紙の需要・市況動向について
- 紙面の都合により、詳細数字は割愛させていただきます。

全原連 第3回役員会

〔平成20年7月23日（水） p m 3:00〕 於

古紙再生促進センター

理事 監事 60名：出席53名（内、委任出席21名）

欠席7名

（1）古紙再生促進センター関係

①業務委員会（7月23日開催）

* 業務委員会、新任委員（4名）

・池田 珍康（王子板紙㈱・大分工場事務部長）

中山 健（大王製紙㈱・資材部長代理）

原田 勇（日本製紙㈱・取締役岩沼工場長）

佐野 一（㈱丸興佐野錦一商店・代表取締役

社長）

* 運用準備基金運用規程の制定と書面による
臨時理事会の実施について

・経済産業省紙業生活文化用品課から10月1日に実施される公益法人概況調査前に運用準備金（25億円）が遊休資産でないことを明確にする必要があり、資金使途、管理運用等を定めた運用準備金運用規程を理事会の議決を得て定めるべきである旨の指導があった。

* グリーンマーク表示実施要領の制定について

・グリーンマーク表示製品の古紙利用割合調

査結果

168企業対象：回答103、未回答65（回答の内、継続すべき80）

・グリーンマーク表示を適切に運用し、グリーンマーク表示の普及を図ることによ

り、古紙利用製品の使用拡大を目的に「グリーンマーク表示規程」の見直しを行い、新たに「グリーンマーク表示実施要領」を制定する。

* センターの古紙主要銘柄表の一部変更について

・業務委員会下部組織の古紙品質規格専門委員会におきまして、現行のセンター古紙主要銘柄につきまして見直しを行い、取引実態の少ないと思われる銘柄の削除や内容（仕様）の一部を変更する案を作成し、各地区委員会を検討していただき、古紙品質規格専門委員会を経て、9月開催の業務委員会での最終決定する。

・点字印刷物のリサイクル適正と古紙としての取扱について、エンボス点字印刷（官公庁発行物）はリサイクル及び古紙として取扱

扱

て

・推薦地区委員会：北海道地区委員会（5団体）、近畿地区委員会（2団体）

* 紙リサイクル団体への表彰状の交付について

・表彰団体名：東京都製紙原料協同組合（推薦地区委員会：関東地区委員会）

* 平成20年度国庫補助対象事業の実施予定について

・広報宣伝事業：○ペーパーリサイクル講習会実施（本年度23件）

調査研究事業：

○古紙利用率向上促進対策調査（冊子「古紙の品質を守るために」改訂版作成）

○オフィス古紙リサイクル状況調査（シユレッター古紙リサイクル冊子作成）

○国際リサイクルシステム構築基盤調査（欧州・中国調査予定）

○新規用途普及促進対策等事業（古紙ハンドブック2008作成）

○紙リサイクルセミナー（平成20年10月29日（水）発明会館開催予定）

* 古紙回収推進事業の各地区実行計画（具体案）の提出について

* センターオリジナルキャラクターの選考に

ついて

- ・公募400点あり、本部で30点に絞り、各地区で3点を選出する。8月7日にセンター本部で最終審査を行い、オリジナルキャラクター1点を決定する。

*業務委員会等の予定(8月休会)

- ・9月業務委員会(平成20年9月29日(月)13:30~センター会議室)

(2) 全原連関係

- ① 正副理事長会・経済産業省懇談会・総合運営委員会(7月2日開催)

- ・中国地区製紙原料直納商工組合、四国製紙原料商工組合設立に伴う近代化推進事業各委員会の委員(正副)選出の件(従来は中国地区)。

- ・全原連:新潟ブロック賛助会員加入について承認。

- ・「クールアース・デー」に向けた取り組みへの協力(七タライトダウン)。

- ・20年度各委員会の活動について報告。

(3) 審議事項(役員会上程、承認事項)

- ① 「古紙商品化適格事業所」・「古紙リサイクルアドバイザー」申請認定に関する件

- ・古紙商品化適格事業所:7月15日(1社1所)

- ・リサイクルアドバイザー:7月15日(3社、26名)

- ② 新潟ブロック賛助会員加入に関する件

- ・新潟県内の古紙業者で任意団体全国製紙原料商工組合連合会新潟ブロック(略称全原連・新潟ブロック)設立総会を平成20年6月14日開催し、新規に発足いたしました。(組合員数:14社)

- ③ 近代化推進事業組織一部変更及び委員選出に関する件

- ・従来、中四国地区から合同で近代化推進事業委員を選出していましたが、今般、中国地区製紙原料直納商工組合及び四国製紙原料商工組合の設立に伴い、各組合で地域に密着した活動を展開するため、近代化推進事業各委員会の正副委員を選出しました。

- ④ 平成20、21年度近代化推進事業・委員会事業内容及び委員会構成に関する件

- ・委員会構成:中国地区製紙原料直納商工組合、四国製紙原料商工組合設立に伴い、正副委員を選出する。

- ⑤ (社)日本印刷産業連合会「古紙リサイクル対応協議会」委員推薦に関する件

- ・推薦委員:皆川昇氏(皆川商事(株)代表取締役社長)を承認。

- ⑥ 環境省総合環境政策局「特定調達品目検分科会」委員推薦に関する件

- ・推薦委員:栗原正雄氏(全原連理事長・栗原紙材(株)代表取締役社長)

- ⑦ 民間活動「グリーン購入ネット(GNP)タスクグループ」へ栗原理事長参加。

(4) 各委員会報告

●経営革新委員会

- ・取引に係る決済条件改善事業、安全推進支援事業(火災予防対策事業)。

- ・「エコアクション21」合同認証取得と取得率アップの推進。

- ・中国、四国、新潟の各組合設立に伴い、認定制度取得推進。

- ・「古紙品質管理マニュアル(手順書)」冊子作成の件。

●需給委員会

- ・海外市場調査(今年度はイギリス、オランダ)10月11日~8日間予定

- ・市場の変化に対応するために国内・国際需給の現状把握と分析・予測を迅速に行う。

●IT推進委員会

・コンピュータ化の推進(四国地区説明)、ホームページの充実、ネット取引事業の推進、グループウェアの充実等、10月9日全原連事務局で開催予定。

●渉外広報委員会

・新聞広告掲載について各単組で意見をまとめて6月30日までに全原連事務局へ提出お願いの件。(回答は中部、中国、九州地区)
・エコプロダクト2008出展(12月開催)についてパネル内容を検討。

・8月29日全原連事務局開催予定。

次回開催：役員会 平成20年9月29日(月)
15:00～16:30 センター会議室

60周年記念実行委員会

◎平成20年7月14日(月) 事前協議会

出席理事16名 組合会議室 p.m.4:00～

第1回60周年記念実行委員会を開催するにあたり事前協議会を開催。今までの準備経過報告と実行委員会開催までの準備事項の確認等話し合った。

◎平成20年8月5日(火)

第1回60周年記念実行委員会

出席理事 17名 組合会議室 p.m.4:00～

①式典・祝賀会の分担当(担当者)の決定

②来賓者(招待者)の決定

③招待状、案内状の発送スケジュールの確認

◎平成20年8月27日(水) 担当者会議

13名 組合会議室 p.m.3:00～

①式典・祝賀会の当日担当者の決定

②分担当担当者の進捗状況の報告

*今後の予定：第2回60周年実行委員会の開催
9月24日(水) 4時45分～ 上野・精養軒にて



編集後記

広報副部長 高橋 宏明

9月号は、8月の理事会が夏休みだったと言ったこともありページ数の方も少いかもありません。また、「組合員の広場」の方の原稿も少なく、組合員の皆様「随時募集」しておりますので書いて頂けるように、お願いしたいと思います。

さて、10月に入ると我が組合の今期最大の一大イベントであります60周年記念式典が、秒読み段階に入って行きます。広報部としては、50周年からの10年間の軌跡をたどりました記念誌の発行に向けて取り組んでおります。理事長をはじめ実行委員の皆様も最終段階の準備に入って頑張っております。60周年記念は、組合員皆様方の記念行事であります。一人でも多くの方に来ていただきたいと思っています。

また、一雨ごとに涼しくなって行くような気がします。体調を崩されないようにお気をつけください。